



第26号

(発行所)

真宗大谷派  
松岡山 廣讚寺

中村区城屋敷町3-30  
TEL (052) 411-5301  
FAX (052) 411-5341

### 釋尊と阿弥陀仏

「善導独明仏正意」と一声大きく唱え正信偈を朝夕拝読する。善導大師は唐代の高僧である。聖人は正信偈によつて念仏の歴史を七高僧をあげて説明してみえる。

「觀經疏玄義分」に次のように説明してみえる。

『釋迦はこの方より發遣し 弥陀は即ちかの国より來迎し給う かしこに喚び ここに遣る あに去らざるべけんや』

私流に口語訳するに

教主のお釋迦様は、この娑婆(現実)世界に人間として生まれでて浄土世界へ往け往けと私たちに勧めてみえる。一方、阿弥陀様は浄土世界からわざわざこの娑婆に降りてきて、私たちを迎えにきてくださっている。

阿弥陀様の來れ来いよの声。お釋迦様の往けよ往け往

けの声。このお二方の声を聞いたならば(念仏)往かずに  
おれるものではない。

生命ある  
いのち

限りこの世

に生きて念

仏を信じ唱

え生命終わ

る時、阿弥

陀様の導き

により浄土

に生まるる

身となる喜

びはたとえ

ようがない

のだ。

如來所以

興出世

唯說弥陀

本願海を深

く信ずるべ

きである。



## 住職法話

いつものようにその日もお釋迦様はアナンを供に山道  
をいそいでみえました。

阿難はいった。「お釋迦様、涼しそうなヒマラヤの白  
い峰がみえますよ。あんな所へ行つてみたい」「どうして  
お釋迦様はこんなあつい日に丘をこえバルナの村へ出か  
けるのですか」

お釋迦様はおっしゃいました。

「バルナの方々が私を呼んでくれたからだよ」

阿難「それならばもつと涼しくなつてから行くといっ  
てやればよかつたのに」

ここでお釋迦様は次のようにおっしゃった。

「人間は誰でも自分の都合によつてしゃべるものですよ。  
バルナの方々はこんなあつい日に私の説教がききたい。

それにはそれなりに理由があつたのでしょようネ。阿難よ、  
あついなー。私もあつくてたまらないが、それはこちら  
の都合というものだよ。法ゾルマがききたいというバロンの人  
たちの法に私は従うだけだよ」「阿難よ」

## さえずり抄

えみ女

背の君を背に乗せとべる蝗虫かな

母からの行平鍋の七日粥

西空へ機雲延々野分晴

一線の滝が貫く去年今年

南吉のふる里今や曼珠沙華



## 廣讚寺同朋会について

伊藤和美

宗祖親鸞聖人七百回御遠忌法要を契機に同朋運動が始  
まり、同朋新聞が毎月発行されることになりました。

廣讚寺でもその新聞を読む会、すなわち廣讚寺同朋会  
が七十人で結成されました。それは昭和三十七年のこと

でした。以来、来年で五十年が経過します。

その後同朋会運動を強力に推進するため、本山では各教区を指名して推進員の養成を始めました。その推進員による新同朋会が昭和五十二年に創立され、来年で三十五年になります。

毎月廣讚寺本堂で例会を開き、住職の説教・おつとめのけいこ・寺の仏事のお手伝い・会員相互の親睦(しんぼく)を図るバス旅行・別院や二十組での講習会等にも参加しています。最大の行事は夏の子供が喜ぶ金魚すくい・輪投げ・ビンゴゲームの納涼大会です。総会では会員物故者の追悼を行い、寸劇・コント・芝居等親睦をふかめております。

皆さんの参加をおまちしています。そして一緒に念仏をいただきます。現会員六十人と共にお待ちしております。

## 粒粒皆辛苦りゅうりゅうみなしんく [1]

名古屋市政波高し。門外漢うんぬんは云々すべきではないが、どうも市長の名古屋弁にはひんしゆくする。晁雅さんから一文をいただいた。『私が稲葉地に嫁いで耳にした「ほしいがやあ」なる言葉にびっくりした。主人は私を呼ぶのに「オイ」「コラ」「ヤイ」。さらに「バカ」「タハケ」「クソヌク」には返答のしようもない屈辱感があった』稲葉地も言葉の汚い所だが、市長の名古屋弁とかも汚くて親近感もわからない。方言には土地の者同士の温かみのあるものだが、市長の名古屋弁らしきものは尾張のどの地域のものか。調査したくなった。

その発端として稲葉地の汚い言葉を集めてみようかと身辺の方々に話してみたら、晁雅さんからの一文をいただいた。祖母たちの会話のナモノ弁は、それなりにやさしいアクセントがあったような気がする。



『親鸞聖人七百五十回御遠忌法要』

廣讚寺から、京都本山へ  
団体参拝します。

※来年

平成二十三年四月二十四日(日)  
みなさんご参加ください。

※行事予定

五月五日(祝)

復興永代経執行

午前十時から おつとめ おとき

説教 本澄寺 明仁師

午後は特別プログラムとして

有志による詩吟・民謡・舞踊など

廣讚寺座による演劇もあります。

五月八日(土)七時半 同朋会(役員は七時)

十九日(水)二時 学習会

二十八日(金)十時 二十八日講・女人講

六月十二日(土)七時半 同朋会(役員は七時)

十九日(土)二時 学習会

二十八日(月)十時 二十八日講・女人講